

第55回もも脳ネット運用会議

文責：岡山中央奉還町病院（幹事病院）

開催日時：令和1年 6月19日(水) 19:00時～20:00

開催場所：『岡山医療センター』 西棟8階 大研修室

出席者『赤磐市医師会病院』道越 MSW

『大杉病院』佐藤 MSW

『岡村一心堂病院』中嶋 Ns、江見 PT

『岡山医療センター』奈良井 Dr、溝内 Ns、宮下 PT、岩田 MSW、川上 MSW

『岡山協立病院』川上 Ns、荒島 PT、山岡 MSW

『岡山旭東病院』辻井 Ns、片岡孝史 PT、清本 PT、藤田 ST、河合 MSW、
渡辺事務、徳弘事務

『岡山光南病院』宮森 Dr、内山 Ns、平川 MSW

『岡山済生会総合病院』坂本 Ns、大村 MSW、小川事務

『岡山済生会外来センター病院』原田 Ns、三上 PT、山縣事務

『岡山西大寺病院』水上 PT、原 PT、永井 MSW

『岡山市立市民病院』出口 Dr、三宅 Ns、菊井 PT、西山 MSW、青山 MSW

『岡山市立せのお病院』矢敷 MSW

『岡山赤十字病院』岩永 Dr、高木 Dr、徳永 Ns、松林 Ns、岡田 Ns、
中野 MSW、田村 MSW、江里事務

『岡山中央奉還町病院』小林 Dr、難波 Ns、田中 Ns、津田 PT、藤井 MSW

『岡山中央病院』水野 MSW、門脇 MSW

『岡山東部脳神経外科病院』河野 PT

『岡山リハビリテーション病院』桜谷 Ns、今田 Ns、児玉 MSW

『岡山労災病院』足立 Dr、葉山 Ns、香川 Ns、和田 MSW

『梶木病院』保田 Ns、佐藤 PT、三木事務

『金川病院』高塚 MSW

『川崎医科大学総合医療センター』井上 Dr、潮 MSW、橋本 MSW、桑田 MSW

『草加病院』河井 Ns

『倉敷記念病院』中野 MSW、大島 MSW

『倉敷成人病センター』石井事務

『倉敷リハビリテーション病院』久本 Ns、岡本 Ns、小野 Ns

『光生病院』貝島 MSW

『児島中央病院』園山 PT、田中 PT、安田 MSW

『ユープリハビリテーション病院』前田 PT

『済生会吉備病院』石川 Ns

『佐藤病院』 宇民 Ns、人見 PT
『重井医学研究所附属病院』 塩津事務
『しげい病院』 河原事務、水畑 MSW
『高橋中央病院』 三村 PT、濱田 MSW
『田尻病院』 河本事務
『玉野市立玉野市民病院』 細川 Ns、藤原 PT、寺内 MSW
『藤田病院』 村上 PT、栄田 MSW
『宮本整形外科病院』 吉房 MSW
『竜操整形外科病院』 高田 MSW
『渡辺病院』 小林 PT、小川 MSW

〈在宅ワーキンググループ〉

『岡山県歯科医師会』 角谷 Dr、相坂 Dr
『岡山県歯科衛生士会』 武田歯科衛生士
「ケアマネ協会」 丸田ケアマネ
『古都の森』 山下支援相談員
『都窪歯科医師会』 山本 Dr
『備前県保健所 保健課』 平田班長

計：39 施設 114 名(敬称名・五十音順)
医療機関：33 施設 104 名
在宅グループ：6 施設 7 名

(1)運用状況報告

- ①大腿骨頸部骨折パス(『岡山赤十字病院』：高木 Dr)
平成 31 年 3 月～令和 1 年 5 月末までのデータを集計
※頸部骨折パス運用状況 (<http://momono-net.jp/>) 参照

- ②脳卒中ハパス(『岡山赤十字病院』：岩永 Dr)
平成 31 年 3 月～令和 1 年 5 月末までのデータを集計
※脳卒中ハパス運用状況 (<http://momono-net.jp/>) 参照

2. もも脳ネット理事会（5/28開催）の報告

- ・今後のもも脳ネットのありかたについて(川崎医科大学総合医療センター：井上 Dr)

もも脳ネットの あり方についての意見

- ・外来リハビリ紹介のシステム作り。

受け入れ可能なリハビリの領域や空き状況(歩行訓練や構音・嚥下訓練の可否など)を共有するなど、外来リハビリを促進する活動はできないか。

- ・専門職が関わり安全に経口摂取をする道を探っていくため、今まで以上に急性期病院と在宅にかかわる医療機関や介護サービス施設の交流が進み、本音で話し合えるような環境づくりをしていく。

- ・介護機関との事例検討会

地域包括センターでエリアを分けて事例検討を行い、それをもも脳ネットで発信して共有することで、地域との連携を深めていく。

- ・アセスメントシートの共通フォーマットの作成

アセスメントを岡山県内の連携として統一できることで、一定のアセスメント力、また、業務の効率にもつながると思われる。

- ・運用総会にて持ち回りの幹事病院が講義テーマを決め、15分程度発表を行う。(幹事病院の職員が発表を行ったり、幹事病院が講師を手配したり等、疾患・治療、介護保険、退院調整等について)

- ・管理栄養士のネットワークをもも脳に取り込んで、急性期から生活期までの栄養管理の連携を図っていくのはどうか。

- ・AGPIについての考察を深めていきたい。

- ・広報誌の刊行

冊子ではなくA3ほどの1枚で内容は、もも脳ネットの活動状況、県民フォーラムや勉強会等の案内や報告、大腿骨骨折や脳卒中に対してのコラムや情報などの掲載等

- ・画像伝送システムの地域での共有化(Joinなど)

今後は更にtelestrokeが求められると考えられるため、同意取得方法や責任の所在などを統一し、地域全体で質の高い脳卒中診療体制を構築するために、もも脳ネットが動ければよいかと考える。

- ・主幹動脈閉塞スコアを用いた病院前からDrip and Shipも含めた脳卒中急性期診療の地域医療体制作り

- ・患者活動度や患者所在を示すマーク(ピクトグラム)による共通表示の作成・使用
地域の病院や施設に入院(入所)中の患者さんの活動度などを同じマークで表示すると、関わる地域の方々の目線にもわかりやすく、医療・介護従事者にもわかりやすいのではないかと。

- ・脳卒中・大腿骨骨折を予防するための体操動画の作成

寝たきりの主な原因となる脳卒中や大腿骨骨折を予防するための体操動画を作成し、各施設や催しなど使用してもらおうようにするといのではないかと。

- ・ファイルの使用方法について（川崎医科大学総合医療センター：井上 Dr）
- ・年度末にかけて解答し、取り入れていく。
- ・県パスは患者さんに渡し、患者さんに中を見られないように、医療者用パスは封をして患者さんに渡す
- ・とろみ剤の記載表記について（岡山旭東病院：片岡 PT）

地域連携パス 情報提供書

嚥下欄の食事形態 水分表記の変更について

第53回も脳ネット運用会議議事録より（平成30年12月19日）
 看看連携の報告
 ・地域連携パス運用における問題点
 「とろみ」の記載：病院→病院に転院する場合はST配置等もあり「ネクター状」という記載でも伝わっていたが、病院→施設に退院する場合などは伝わりづらいとの指摘があった。

使用しているとろみ剤のメーカー・品名・とろみ剤何gに対して水何mlという記載であれば、とろみのつけ方の統一ができるといった意見交換を行った。

第54回も脳ネット運用会議議事録より（平成31年3月26日）
 看看連携の報告
 ・「とろみ」の標準化について
 各医療機関や施設でより統一したとろみにするために、使用しているとろみ剤のメーカー・品名、とろみ剤何gに対して、水何mlという記載のほかにとろみ早見表を添付してはどうかなどの意見交換を行った。

嚥下欄の水分表記：ポップアップで提示される用語を選択・表記することで生じている問題

今提供している水分はこの選択肢では何状と記入したらいい？
 ネクター状？
 コンデンスミルク？

ヨーグルトとハチミツではどちらがトロミが強い？

ネクターってどんな感じの性状？

液体のゼリーの固さはどの程度？

問題が生じている要因

- 主観的表現であること。
 人によっての固さのイメージが違う
 ↓
 とろみの粘度の誤差が生じやすい
- ネクター、コンデンスミルク状の表記が古い
 ・とろみ調整食品のパッケージ表記は、ユニバーサルデザイン表記が多い。（27商品中18商品）
 ユニバーサルデザイン表記：「フレンチドレッシング状・とんかつソース状・ケチャップ状」
 ・転院や施設入所により、とろみ調整食品の種類が変わると、何gつけばよいかわからなくなる

地域連携パス記載に関する多施設ST協議

開催日時：2019年5月23日（水）19時～20時半
 開催場所：岡山旭東病院にて

【出席者】参加18施設および岡山県言語聴覚士会
 （案内32施設、返答22施設）

赤磐医師会病院、岡山協立病院、岡山旭東病院、岡山光南病院、岡山済生会病院、岡山市民病院、岡山赤十字病院、岡山東部脳神経外科病院、岡山リハビリテーション病院、岡山労災病院、光生病院、倉敷リハビリテーション病院、児島中央病院、済生会吉備病院、重井医学研究所附属病院、玉野市立市民病院、佐藤病院、岡山博愛会病院、川崎医療福祉大学・岡山県言語聴覚士会

議題

- 記載方法を統一することについて 賛否
- どのような方法（記載内容含む）なら良い伝達ができるか？

【現在の情報提供書へどのように記載しているか】

- ・情報提供書にはUDFで記載している。
- ・薄トロミ、中間トロミ、濃いトロミで記載している。
- ・学会分類記載に加えて、何mlに何gかを記載している。
- ・施設に行く人に対しては、使うとろみで伝達するようにしている。

【トロミの院内表現について】

- ・薄トロミ、中間のトロミ、濃いトロミ。
- ・院内ではヨーグルト状トロミのみ。
- ・病棟スタッフがわかるように「弱・中・強」で院内で統一。

【施設別情報】

- ・トロミ剤の準備者
 看護助手、食堂のスタッフなど、医療者以外のスタッフが多かった。
- ・転院してさら再評価するので名称の表現は重要視していない。
- ・情報提供書に商品名を記載されていても参考にならない。

結論

- ① 統一化については、全施設が賛成
- ② 記載方法については、『学会分類(2013)とろみの表記』
『商品名』『100mlあたり〇g』という内容を記載し、
さらに『とろみ早見表を添付すること』で了解を得た。



5月28日 もも脳ネット理事会
上記内容の承認を得た。

学会分類2013(とろみ)

	症例1:濃いトロミ	症例2:中間のとろみ	症例3:薄いトロミ
性状の説明(飲んだ時)	「drink」するといふ表現が適切 口に入れると口腔内に広がる 液体の種類・味や温度によっ てはとろみがついていることが あまり気にならない場合もある 飲み込む際に大きな力を要し ない ストローで容易に飲むことが できる	明らかにとろみがあることを 感じ、かつ「drink」するとい ふ表現が適切な程度 口腔内での動態はゆっくり ですくには広がらない 舌の上でまとめやすい ストローで飲むのは抵抗があ る	明らかにとろみがついていて まとまりがよい 送りこむのに力がある 「スプーンで「eat」するとい う表現が適切なとろみの粘 度 ストローで飲むことは困難
性状の説明(見た時)	スプーンを傾けるととろりと流 れ落ちる フォークの歯の間から早く流 れ落ちる カップを傾け、流れ出た後 は、うずらりと跡が残る程度に 付着	スプーンを傾けるととろりと 流れる フォークの歯の間からゆっ かりと流れ落ちる カップを傾け、流れ出た後 は全体にコーティングしたよ うに付着	スプーンを傾けても形状が ある程度保たれ、流れにくい フォークの歯の間から流れ 出ない カップを傾けても流れ出ない (ゆっくりと塊になっておる)

水分の自由記載方法

選択するポップアップを
×で閉じる

入力したいセルをダブル
クリックすると自由記載可能
となるので、薄いトロミ、
中間のトロミ、濃いトロミ
のいずれかを記載する

中間のトロミ

嚥下コメント欄に
商品名 100mlあたり〇g
と記載

学会分類2013(とろみ) 早見表

性状の説明(飲んだ時)	性状の中間のとろみ	性状の濃いトロミ
「drink」するといふ表現が適切 口に入れると口腔内に広がる 液体の種類・味や温度によっ てはとろみがついていることが あまり気にならない場合もある 飲み込む際に大きな力を要し ない ストローで容易に飲むことが できる	明らかにとろみがあることを 感じ、かつ「drink」するとい ふ表現が適切な程度 口腔内での動態はゆっくり ですくには広がらない 舌の上でまとめやすい ストローで飲むのは抵抗があ る	明らかにとろみがついていて まとまりがよい 送りこむのに力がある 「スプーンで「eat」するとい う表現が適切なとろみの粘 度 ストローで飲むことは困難

とろみ別の分量(水100mLあたり)

商品名	単位	単位	単位
H2O	100.0g	100.0g	100.0g
...

各メーカーに問い合わせ中

学会分類2013 早見表は
もも脳ネットHPの資料室にアップ

3. 脳卒中地域連携普及推進強化事業について(岡山労災病院：足立 Dr)



連携強化のための研修会

- 1 地域連携研修会（市町出前講座）
- 2 ワールドカフェ
- 3 もも脳ネット県民フォーラム

独立行政法人労働者健康安全機構 岡山労災病院

連携強化のための研修会

テーマ

- ①「栄養管理の地域連携：脳卒中を乗り切る栄養管理」
- ②「意思決定プロセスの地域連携：ACP（アドバンスケアプランニング）を脳卒中で考える」



独立行政法人労働者健康安全機構 岡山労災病院

連携強化のための研修会

スケジュール



独立行政法人労働者健康安全機構 岡山労災病院

連携強化のための研修会

地域連携研修会（市町出前講座）

- ・岡村一心堂病院と共催。
- ・11月頃に百花プラザ（東区）での開催を希望。
- ・テーマ「意思決定プロセスの地域連携：ACPを脳卒中で考える」。
- ・講師に医師、ケアマネージャー、弁護士を検討中。

独立行政法人労働者健康安全機構 岡山労災病院

連携強化のための研修会

ワールドカフェ

- ・令和2年1月26日(日)午前。
- ・岡山労災看護専門学校講堂。
- ・テーマ
①「栄養管理の地域連携：脳卒中を乗り切る栄養管理」
②「意思決定プロセスの地域連携：ACPを脳卒中で考える」
- ・多職種によるグループディスカッション。
- ・対象は医師、看護師、管理栄養士、PT/OT/ST、MSW、CM。

独立行政法人労働者健康安全機構 岡山労災病院

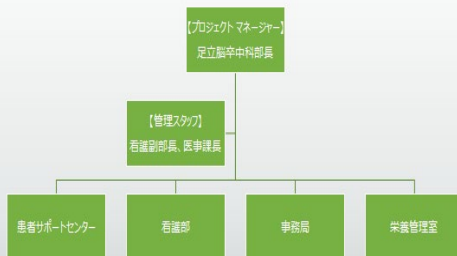
連携強化のための研修会

もも脳ネット県民フォーラム

- ・開催日及び開催場所は、ワールドカフェと同じで、午後開催。
- ・参加人数は最大230名(事前予約制にする可能性あり)。
- ・テーマ
「栄養管理の地域連携：脳卒中を乗り切る栄養管理」
- ・講師に医師、ST、管理栄養士を検討中。

独立行政法人労働者健康安全機構 岡山労災病院

プロジェクトチーム



独立行政法人労働者健康安全機構 岡山労災病院

4. 看看連携の報告

- ・急性期病院→回復期病院 連携パスを活用した支援・課題について
7月29日 労災病院
- ・老々介護の方の退院支援について
(家族が思っている状態と現実のギャップ、元の状態とのギャップなど)

5. 今後の会議の日程について

第37回 理事会

日時：2019年8月21日(水) 19:00

場所：川崎医科大学総合医療センター 5階カンファレンス室1

第56回もも脳ネット運用会議(運用総会)

日時：2019年9月25日(水) 19:00

場所：岡山赤十字病院

幹事病院：岡山リハビリテーション病院